

# 西之表市 議会だより



発行 / 西之表市議会 編集 / 議会報編集委員会  
 発行責任者：西之表市議会 議長 永田 章  
 〒 891-3193 鹿児島県西之表市西之表 7612 番地  
 TEL 0997-22-1111(内線 351) FAX 0997-22-0295  
 E-mail : gikai@city.nishinoomote.lg.jp

平成26年8月11日発行



▲上西小学校にて給食を一緒にいただきました

## ☆紙面紹介☆

面	掲載記事
2～3	平成 26 年度補正予算
3～4	会議結果一覧
5～6	総務文教委員会報告
6	産業厚生委員会報告
7～11	一般質問
12	次回定例会予定等

## 平成 26 年第 2 回定例会 会期日程

- 6月12日 本会議 開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、提出議案の一括上程、市長の所信表明並びに提案理由説明、議案審議（質疑・委員会付託省略・討論・表決、質疑・委員会付託）、請願取下げの件、請願・陳情の委員会付託
- 13日 本会議 一般質問
- 16日 本会議 一般質問
- 17日 本会議 一般質問
- 18日 産業厚生委員会 付託案件審査
- 20日 総務文教委員会 付託案件審査
- 24日 総務文教委員会 付託案件審査
- 25日 各特別委員会、議会運営委員会
- 27日 最終本会議 議案・請願・陳情審議（各委員会委員長報告・質疑・討論・表決）、議案追加上程、農業委員会学識経験者委員の推薦の件、議員派遣の件、閉会中の継続審査、閉会

# 平成26年度一般会計補正予算 など議案23件を可決・同意

平成26年第2回西之表市議会定例会が6月12日から27日まで16日間の日程で開かれ、平成26年度一般会計補正予算（第1号）など予算関係6件を含む議案23件が提案され、それぞれ原案どおり可決・同意された。請願・陳情は、継続2件、新規3件の合計5件で、そのうち1件は取り下げ、採択2件、趣旨採択1件、継続審査1件となった。

## 平成26年度一般会計 補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に1億5,999万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ100億5,099万7千円とするもの。

歳出予算の主な内容は以下のとおり。（数字は補正額）

## 西之表市公平委員会 委員の選任について 同意

現在委員の外蘭哲郎氏が平成26年9月15日付けで任期満了となるため、同氏を再任しようとするもので、原案に同意した。

### 農林水産業費 924万4千円

- ◎農業振興費 753万8千円…鳥獣被害防止関連補助金や農業者所得安定対策推進補助金の事業費を追加、調整、冷凍・冷蔵コンテナ導入事業の追加など
- ◎農地費 △279万9千円…基盤整備促進事業（川脇地区）の道路改良工事分の減額

### 民生費 1億5,786万円

- ◎社会福祉総務費 1億3,976万3千円…繰出金（財政補填分）など
- ◎介護保険事業費 1,658万7千円…職員給与分繰出

### 衛生費 198万3千円

- ◎ごみ処理費 678万5千円…臨時雇用者を4名雇用し、県指定の海岸漂着物対策重点区域の海岸清掃を行う海岸漂着物地域対策推進事業の経費

### 総務費 △2,025万7千円

- ◎一般管理費 △709万円…職員人件費の減額など

### 土木費 171万5千円

- ◎道路橋梁維持費 200万円…橋梁長寿命化修繕計画作成委託料の増加分
- ◎道路新設改良費△200万円…社会資本整備総合交付金事業洲之崎9号線道路舗装工事の減額分
- ◎公園管理費 241万4千円…わかさ公園展望台の修繕経費など
- ◎港湾管理費 89万4千円…浅川港のスロープ段差補修の修繕料の追加など

### 教育費 764万2千円

- ◎備品購入費 275万4千円…パソコンの更新経費など
- ◎扶助費 145万円…学校給食費の値上がりと特別支援学級児童生徒の増への対応など
- ◎文化財発掘費 281万2千円…安城川脇地区二石遺跡発掘調査事業の事業費の増

### 災害復旧費 575万5千円

- ◎現年補助災害復旧費 536万円…2月27日の豪雨による災害復旧事業で農地2件、施設2件の増加分

## 平成 26 年度予算総括表

(単位：千円)

区 分	予 算 額		比較 (A) - (B) (C)	伸び率 (C) / (B) × 100	
	平成 26 年度 (A)	平成 25 年度 (B)			
一 般 会 計	10,050,997	9,730,220	320,777	3.3	
特 別 会 計	簡 易 水 道	202,500	167,500	35,000	20.9
	国 民 健 康 保 険	2,640,350	2,680,718	△ 40,368	△ 1.5
	交 通 災 害 共 済 事 業	2,771	2,780	△ 9	△ 0.3
	地 方 卸 売 市 場	501	507	△ 6	△ 1.2
	介 護 保 険	1,963,587	1,873,889	89,698	4.8
	後 期 高 齢 者 医 療 保 険	216,336	190,621	25,715	13.5
	小 計	5,026,045	4,916,015	110,030	2.2
合 計	15,077,042	14,646,235	430,807	2.9	

### 会議結果一覧（平成 26 年第 2 回定例会）

議 案 名	議員名（議席番号順）														議決 結果		
	木 原 幸 四	鮫 島 市 憲	濱 上 幸 十	小 倉 初 男	下 川 和 博	瀬 下 満 義	小 倉 伸 一	田 添 辰 郎	中 原 勇	川 村 孝 則	榎 元 一 已	長 野 広 美	橋 口 美 幸	渡 辺 道 大		丸 田 健 次	永 田 章
報告第 1 号 専決処分の承認を求めることについて…西之表市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	-	承認 賛 11、否 4
報告第 2 号 専決処分の承認を求めることについて…西之表市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認 賛 15、否 0
報告第 3 号 専決処分の承認を求めることについて…西之表市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	承認 賛 13、否 2
報告第 4 号 専決処分の承認を求めることについて…平成 25 年度西之表市一般会計補正予算（第 8 号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	承認 賛 12、否 3
報告第 5 号 専決処分の承認を求めることについて…平成 25 年度西之表市簡易水道特別会計補正予算（第 5 号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	承認 賛 12、否 3
報告第 6 号 専決処分の承認を求めることについて…平成 25 年度西之表市国民健康保険特別会計補正予算（第 5 号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	承認 賛 12、否 3
報告第 7 号 専決処分の承認を求めることについて…平成 25 年度西之表市交通災害共済事業特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認 賛 14、否 1
報告第 8 号 専決処分の承認を求めることについて…平成 25 年度西之表市地方卸売市場特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認 賛 14、否 1
報告第 9 号 専決処分の承認を求めることについて…平成 25 年度西之表市介護保険特別会計補正予算（第 5 号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	-	承認 賛 11、否 4

※永田章議員は、議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。○は賛成、×は反対

## 会議結果一覧（平成 26 年第 2 回定例会）つづき

議 案 名	議員名（議席番号順）														議決 結果		
	木原幸四	鮫島市憲	濱上幸十	小倉初男	下川和博	瀬下満義	小倉伸一	田添辰郎	中原勇	川村孝則	榎元一己	長野広美	橋口美幸	渡辺道大		丸田健次	永田章
報告第 10 号 専決処分の承認を求めることについて…平成 25 年度西之表市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第 5 号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	承認 賛 12、否 3
報告第 11 号 平成 25 年度西之表市一般会計継続費繰越計算書の報告について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報 告
報告第 12 号 平成 25 年度西之表市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報 告
議案第 35 号 西之表市公平委員の選任について	無記名投票（有効 13 無効 2）															-	同意 賛 12、否 1
議案第 36 号 西之表市立学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	原案可決 賛 13、否 2
議案第 37 号 鹿児島県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約の変更について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 賛 14、否 1
議案第 38 号 平成 26 年度西之表市一般会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 賛 14、否 1
議案第 39 号 平成 26 年度西之表市簡易水道特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 賛 14、否 1
議案第 40 号 平成 26 年度西之表市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	原案可決 賛 12、否 3
議案第 41 号 平成 26 年度西之表市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 賛 14、否 1
議案第 42 号 平成 26 年度西之表市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 賛 14、否 1
議案第 43 号 平成 26 年度西之表市水道事業会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 賛 14、否 1
議案第 44 号 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元に係る意見書の提出について	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 賛 13、否 2
議案第 45 号 集団的自衛権の行使容認について慎重審議を求める意見書の提出について	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	-	原案可決 賛 11、否 4
陳情第 9 号 「協同労働の組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	趣旨採択 賛 14、否 1
請願第 27 号 「川内原発再稼働に反対する意見書」の鹿児島県知事への提出を求める請願書	取り下げ															-	許 可
請願第 28 号 少人数学級の推進など定数改善と義務教育費国庫負担制度の 2 分の 1 復元をはかるための、2015 年度政府予算に係る意見書採択の要請について	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採 択 賛 13、否 2
請願第 29 号 国上小学校あいさつ坂の道路舗装・整備についてお願い	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採 択 賛 15、否 0
請願第 32 号 「川内原発再稼働に反対する意見書」の鹿児島県知事への提出を求める請願書	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	-	継続審査 賛 11、否 4

※請願第 32 号については、委員長報告（継続審査）に対する賛否を記載しています。

# 委員会審査報告

議案は、常任委員会に付託され、慎重に審査されます。その審査の経緯と結果は、本会議で各常任委員長が報告し、質疑・討論を経て採決されます。

## 総務文教委員会

### 【構成委員】

委員長 下川和博  
副委員長 丸田健次  
委員 小倉伸一  
田添辰郎  
中原 勇  
川村孝則  
橋口美幸  
永田 章

### 条例の制定

#### ▼西之表市立学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成13年4月1日から休校中の鴻之峯小学校について、閉校とするため条例の一部を改正しようとするもの。  
この閉校問題に関しては、市長、教育委員会ともに地元と丁寧な協議を積み重ねてきた結果と理解するが、再度、住民代表者の思いを聴取し確認するために、中割区長奈尾正友氏、区民今門則夫氏に出席をいただき、これまでの経過や現在の区

民の状況を聴いた。

平成26年3月14日、区評議委員会、役員会の際に、休校から13年経過しており閉校の方向で検討していただけないかと教育委員会より話があり、その後、3月23日、区総会において、前区長より閉校の方向で検討できないかとの説明があり、区民からは異論はなかったが、小学校がなくなることは複雑な思いで苦渋の選択であったとのことである。

4月末、現区長が児童の保護者（3世帯）に個別に意見を聞いたところ「仕方がない、開校して3世帯でPTA活動をするのは困難だ」などの意見であったとのことである。  
また、閉校となり教育財産から普通財産となった場合、教育委員会主管外となるため、市長に閉校後の跡地利用に関する基本的な考えを聞いた。

### 予算

#### ▼平成26年度一般会計補正予算（第1号）

市長は、中割地区の意向を尊重し将来計画を立て、方向性としてサマースクールや林間学校などの交流施設として、地元と一緒に検討していきたいとのことであった。  
以上、審査の結果賛成多数で原案のとおり可決すべきものとして決した。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億5,999万7千円を追加し、歳入歳出の予算を歳入歳出それぞれ10億5,099万7千円とするものである。

地方債補正は、災害復旧債（現年発生農林水産施設災害復旧事業）の追加1件で、2月27日の豪雨災害で発生した農地2件、農業用施設2件に係るものである。  
歳入については、国庫負担金及び県負担金の障害児施設処置費が

### 事務・規約の変更

#### ▼鹿児島市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約の変更について

鹿児島市町村総合事務組合が共同処理する退職手当支給に関する業務を委託するため、同組合規約に係る組合市町村に西之表市を加えるよう、同組合規約を変更しようとするものである。  
同組合に加入した場合の効果は次の通り。  
① 加入金の負担がな  
く、定年以外の退職者の予測も含め、10年間の退職手当支出見込みを予測し、負担金の率を調整できること。  
② 予算編成において、長期的に安定した支出となり、財政計画等構築しやすくなること。  
③ 中途退職者や早期退職など、想定外の退職者が増となった場合において、予算確保する必要がないこと。  
④ 退職手当支給に係る事務負担の軽減が図られること。

増額されている。国庫補助金の農業費及び商工費補助金の離島活性化交付金が増額となり、また、環境衛生費補助金の漂着地域対策推進事業が新規で計上されている。  
財源不足を補うため、基金繰入金を増額し、財政調整基金から繰り入れている。  
歳出については、地域振興費の負担金補助及び交付金のコミニュティ助成は、古田番屋峰集落に、いす、テール、オーディオ機材などを助成するもの。教育費の小学校費及び中学校費では、パソコンの更新で小学校10台、中学校7台分の購入費、また扶助費の増額は、給食費が月300円増になったことと、特別支援を受ける生徒が、小学生で2名、中学生で5名増えたことによるものである。  
以上、審査の結果全会一致で原案のとおり可決すべきものとして決した。

請願・陳情

▼国上小学校あいさつ坂の道路舗装・整備についてのお願い

県道から正門までの坂道、通称あいさつ坂の路面の痛みが激しいため、道路の舗装整備を要望するもの。

当委員会では、委員全員で現地調査を行い、審査した結果、学校の景観も含め、安全管理上も問題があることから、応急処置でなく、きちんとした整備を急ぐべきとの結論に達し全会一致で採択すべきものとして決した。



あいさつ坂現地調査の様子

産業厚生委員会

【構成委員】

委員長 小倉初男  
副委員長 鮫島市憲  
委員 木原幸四  
濱上幸十  
瀬下満義  
榎元一巳  
長野広美  
渡辺道大

予算

▼平成26年度一般会計補正予算(第1号)

歳出の主なものとして、社会福祉総務費では、国民健康保険特別会計1億4,706万2千円、介護保険特別会計1,658万7千円の繰出金などが計上されている。衛生費のごみ処理費は、海岸漂着物地域対策事業に係る県補助事業で、臨時的雇用者賃金4名分と作業に係るトラック借上げ等諸経費等が計上されている。農業振興費補助金の

■委員会からの指摘・要望

ごみ袋については、今後、購入にあたっては中種子町との協議も進めながら、統一したごみ袋を一括発注するなど、市民の負担軽減を図ること。

鳥獣被害防止総合対策整備事業の電気柵導入について、過去に設置した設備が現在も効果的に使われているのか、追跡調査を行い、現時点までの取組みの評価を行うこと。

▼平成26年度簡易水道特別会計補正予算(第1号)：歳入歳出予算の総額に、それぞれ3,350万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億2,500万円とするもの。

▼平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)：歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,535万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ26億4,035万円とするもの。

▼平成26年度介護保険特別会計補正予算(第1号)：歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,658万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ19億6,358万7千円とするもの。

1号)：歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,658万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ19億6,358万7千円とするもの。

▼平成26年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)：歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,233万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億1,633万6千円とするもの。

▼平成26年度水道事業会計補正予算(第1号)：収益的収入及び支出について、職員の人事異動に伴うもの及び、減価償却費の補正である。また、資本的収入の補正については、阿曾浄水場取水施設整備事業に係る上水道事業債を増額補正するもの。支出については、阿曾浄水場取水施設整備事業に係る補正である。

以上について審査の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものとして決した。

左から渡辺委員、鮫島委員、長野委員、木原委員長、中原委員、丸田委員



いろいろなご意見をお聞かせください!

91号より右の編集委員会メンバーで「議会だより」を作成しています。市民の皆様にも、議会をより身近に感じていただけるよう、親しみやすい紙面づくりに心掛けていきたいと思っておりますので、いろいろなご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

議会報編集委員会 委員長 木原幸四

## 意見書の提出

次の意見書について西之表市議会より関係省庁へ提出しました。

▼集团的自衛権の行使容認について慎重審議を求める意見書  
 ▼少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書

35人以下学級について、小学校1年生・2年生と続いてきた35人以下学級の拡充が予算措置されていない。

日本は、OECD諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっている。一人ひとりの子どもに丁寧な対応を行うためには、ひとクラスの学級規模を引き下げる必要がある。

社会状況等の変化により、学校は一人ひとりの子どもに対するきめ細かな対応が必要となっている。また、新しい学習指導要領により、授業時数や指導内容が増加するなか、日本語指導などを必要とする子どもたちや障害のある子どもたちへの対応等も課題となっており、いじめ、不登校など生徒指導の課題も深刻化している。こうしたことの解決にむけて、少人数学級の推進などの計画的定数改善が必要である。

いくつかの自治体においては、厳しい財政状況の中、独自財源による30人～35人以下学級が行われている。このことは、自治体の判断として少人数学級の必要性を認識していることの現れであり、国の施策として財源保障すべき必要がある。また、文部科学省が実施した「今後の学級編制及び教職員定数に関する国民からの意見募集」では、約6割が「小中高校の望ましい学級規模」として、26人～30人を挙げている。国民も30人以下学級を望んでいることは明らかである。

三位一体の改革により、義務教育費国庫負担制度の負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられた。その結果、自治体財政が圧迫され非正規教職員も増えている。子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。

子どもの学ぶ意欲・主体的なとりくみを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠である。こうした観点から、政府予算編成において下記の事項の実現に向けて取り組むよう要望する。

記

- 1 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月27日

鹿児島県西之表市議会



集团的自衛権の行使容認について慎重審議を求める意見書

これまで政府は、憲法第9条のもとにおいて容認されている自衛権の行使は、我が国を防衛するため必要最小限の範囲にとどまるべきものであると解しており、集团的自衛権を行使することは、その範囲を超えるものであって、憲法上許されないとしてきた。

これに対し安倍首相は、私的諮問機関である「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」の報告書に基づいて集团的自衛権の行使容認を行う方針を示しており、憲法解釈の変更が必要と判断されれば、改正すべき法制の基本的方向性を閣議決定し、準備ができ次第、必要な法案を国会に諮ると表明している。

よって、国会及び政府におかれては、憲法解釈の変更による集团的自衛権の行使容認については国民的議論を踏まえ慎重に審議するよう当市議会に強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月27日

鹿児島県西之表市議会



## 一般質問

平成26年第2回定例会では14名の議員が一般質問をされました。以下に要旨を掲載します。

丸田 健次 議員

◎公金管理（歳計現金・歳計外現金）について



**問** 支払事務において、振込先が正しい債権者でなかったり、不適正な支払内容であったりといった事故事案はあるのか、また、そのような場合はどのような処理をしているのか。

**答** 昨年度以前は、各課ごとに振込の事務を行っており、年数十件の債権者誤り、振込額の違算があった。

昨年度からの財務会計システム移行に伴い振込事務が会計課一本に集約され、事務を処理しているが、昨年度は3件の金額違いが生じている。なお、債権者誤りの実例はなく、口座情報が違う場合は、指定金融機関から通知があり振り込む前に情報のやり取りが行われるため誤りはない。

また、金額違い等の事態が判明した場合は、速やかに債権者等に連絡を取り、指定金融機関を通じて、組戻し等の事務処理を行うとともに、主管課職員をはじめ、会計課職員ともども原因やミス的重要因素をしっかりと分析して同じような手続きミスが発生しないよう最大限の注意喚起と事務

処理を遂行していく。（会計課長）  
 ※その他の質問  
 ◎公金管理（基金）について

中原 勇 議員

◎シカ対策について  
 ◎馬毛島問題対策協議会について



**問** 今年度のシカの捕獲目標は何頭か。被害がひどすぎることから、年度途中で目標を達成した場合には、目標以上のシカを捕獲すべきと思料するが如何。

**答** 今年度の捕獲目標は、900頭としており、目標を年度途中で達成したときは、協議会に諮り、補正予算を組んで、目標以上のシカを捕獲するよう努力したい。（農林水

水産課長)

**問** 馬毛島問題対策協議会の性格は何か。中種子町議会が脱会する等1市3町の足並みが乱れ、かつ、馬毛島問題に賛成する市民も少なからずいることから、対策協議会の経費を市民の税金で賄うべきではないと思料するが如何。

また、先の3月議会においても協議会の負担金についての議論はなかった。議論がなければ議会の承認を得たとするのはいかがなものかと思料する。

中種子町議会が承認しているのか、情報が欲しい。

**答** 対策協議会の性格は「任意団体」である。

協議会の経費については、各議会において議決を頂いており、問題は無いと考えている。(行政経営課長)  
※その他の質問  
○農道の草払い、FC LP 移転による影響について

小倉 初男 議員

◎マダニの生息状況について

◎市道・農道の管理について

◎防災訓練について



**問** シカにはたくさんのダニが付いている。感染症予防に向けて子どもたちが遊ぶ公園やあつぽらんどなどダニの生息状況調査と対策が必要ではないか。

**答** ダニは薬剤の散布をしても一時的にいななくなり元に戻ることから市では生息調査を実施する予定はない。防災無線や広報紙などで情報提供注意喚起を行う。(市民生活課長)

**問** 市道・農道に覆いかぶさった立ち木の伐採とび割れ

やデコボコ道路の改修についてどのように対処しているか。

**答** 計画的に伐採をしていくが、個人の所有物が多く作業がなかなか進まない。市道への苦情は昨年1年間で110件あり、80件の補修をした。(建設課長)

**問** 防災訓練はモデル地区や関係機関だけでなく全校区・各集落まで降りた方が各地域の課題も見えてくる。市全体の訓練が必要ではないか。

**答** 消防団員とその家族を対象とした訓練では多くの課題が出された。今年12月の凶上訓練と3月の消防団訓練の折、全市民を対象とした訓練を検討したい。(総務課長)



下川 和博 議員

◎防災及び分団員確保について

◎体育施設の充実に



**問** 避難所における備蓄の現状、今後の予定を問う(毛布、食料品、水など)。

**答** 毛布100枚を市役所に保管、食料品や水については備蓄していない。備蓄の場所等について早急に検討していく。(総務課長)

**問** 消防分団員の確保(市職員の加入等)について問う。

**答** 分団員の定数320人に対し加入者310人、市職員は現在3人。今後は法律が公布されたこともあり、職務の遂行に著しい支障が無ければ加入を認める。(総務課長)

**問** 体育施設の充実について問う。

**答** 状況を把握し、検討する。あつぽらんどに集約するのも1つの方法である。(市長)

※その他の質問  
○榕城中学校跡地利用、スポーツ合宿、スクールバス停留所、若者定住事業、公共工事の現状、馬毛島問題について

鮫島 市憲 議員

◎地域活性化交付金について

◎納税収納業務について

◎ふるさと納税について



**問** 地域活性化交付金事業は、事業の継続を求める声も高まっている。次年度への見解を問う。

**答** 有効に活用している地域がある一方で、「創意工夫を活かした地域づくり」という事業目的になっていない地域も見受けられることから、この事業を今年度で廃止し、12月末までには、新しい事業等を検討したい。(地域支援課長)

**問** 納税収納業務改善に伴い、本年度の軽自動車税の収納状況から見た口座振替等への移行状況を問う。

**答** 5月末の軽自動車税の収納率は86.16%で、昨年同時期から0.52ポイント増加しており、口座振替への移行状況は、今年度は18.33%となっており、昨年より0.62ポイント増加している。(税務課長)

**問** 国保税等、他の税金も本格的に収納期を迎える。口座振替の促進、啓発活動への取り組みを問う。

**問** 地域活性化推進員の負担軽減と個人情報保護の観点から推進員による収納と取りまとめを廃止した。収納率の低下を招かないよう職員一同努力し

ていく。口座振替への促進については、あらゆる機会に啓発している。(税務課長)

**問** ふるさと納税について、本市の納税金額と併せて、お礼方法など、今後の積極的な推進方を問う。

**答** 23年度がピークで23名、352万2千円、25年度は、24名で164万6千円と年々減少している。大口の寄付が減少したことが主な要因である。県下29市町村が特産品をお礼として送付している。本市も他市の状況を参考に、内容や金額を検討し、10月実施を目的に検討していく。(地域支援課長)  
※その他の質問  
○地籍調査の取り組みについて



瀬下 満義 議員  
◎財政課長

**問** 先日財務省の諮問機関である財政制度等審議会が、このままでは、46年後の2060年には、国と地方の債務残高が8,157兆円に達し、予測人口国民1人当たり9,400万円になるとの試算結果を公表した。市長はこの試算結果をどの程度信頼しているか。

**答** 国の財政は以前から大変厳しく、借金の増加で国民も支えきれなくなっており、改革が必要だ。識者の意見もおおむね一致しており、信頼するに足る試算結果だと思う。(市長)

**問** 現在、市長以下の退職金はそれぞれいくらか。

**答** 市長が1,499万円、副市長が884万円、教育長が823万円である。(総務課長)

**問** 財政再建のためにも市長、副市長、教育長の退職金制度を廃止する考えはないか。

**答** 今のところ廃止する考えはない。

(市長)

※その他の質問

○消防団員、ひとりだちの教育の推進、個を生かした教育の推進、市民と共に歩む市役所づくり、情報公開による行政の透明性の確保、議員と行政とのより強い連携、予算書の内容説明、正職員・再任用職員・臨時職員の待遇格差と職員採用について



川村 孝則 議員  
◎少子化対策について

た。本市は531人になる見込みである。少子化対策は待ったなしである。首長に危機感を持つてもらいたい。出産年齢の女性の皆さんに、夫婦に産意欲を持たせる対策を講じるべきではないか。

**答** 現在中学生までの医療費の無料化、保育園の保育料の低減化等、子育て支援を行ってきており、祝い金制度の協議もあつた。国では第3子以降の手当も検討中ということである。(福祉事務所長)

結婚や出産の祝い金等創るべきとの事だが、現在市としては子育てには医療費関係が1番重要だろうと考え、無料化を行っており、今後も施策を講じ、祝い金制度等子育て支援については検討させていただきます。(市長)  
※その他の質問  
○観光行政、教育行政、温泉問題について

**問** 先日の報道で、2040年の人口流出試算として、地方から三大都市圏への人口流出がそのまま続けば、30年間で20代から30代の女性が半分以上になる自治体は、896市区町村、県内は43自治体中30市町村に上る試算を公表し

小倉 伸一 議員  
◎「種子島市」の実現について  
◎下西小学校の校舎・通学路の環境整備について



**問** 「種子島市」の実現について、「種子島市」への名称変更と種子島1市2町の合併について、住民意向調査など具体的取り組みを要請する。

**答** 「種子島市」への名称変更については、そうありたいと思うが、検討させていただきたい。1市2町の合併については、機を見て考えながら進めていきたい。(市長)

**問** 通学に危険のある路線について、改修整備を急いでいたいただきたい。また、校舎等の改修を求めたい。

**答** 通学路の整備については、国の

社会整備事業など活用していきたい。また、校舎等の改修については、大事なことであり、市内全学校の3カ年改修計画を策定し、わかりやすく取り組んでいきたい。(建設課長)  
※その他の質問  
○6次産業化による地域の再生に向けて、新規就農者などの人材育成と支援のあり方について



渡辺 道大 議員  
◎空き缶等散乱防止について

**問** 空き缶等散乱防止について、昨年の12月議会でも質問したが、それ以降どのような取り組みをしたか。

**答** 回収箱に、空き缶等以外のものが入っていて、業者が設置したくないとの意見がある。そのため、

衛衛生自治会と協力をし、空き缶等以外のものを捨てないでほしい旨を記載したステッカーを5000枚作成し、業者を通じて回収箱に貼って対応した。(市民生活課長)

**問** 空き缶等散乱防止条例を制定している島として1市2町で取り組んでいるが、条例をもとに業者への指導が必要ではないか。

空き缶等を拾う清掃作業は、きれいなまちづくりのためにも奨励していくべきだが、回収箱にしつかりと捨てさせる環境を整えていくべきではないか。

**答** 業者の方には、これまで指導もしてきて、今日に至っている。回収箱にいろいろなものが入っている、市民のモラルを高めることと、業者への指導も当然やっていく。(市長)

※その他の質問  
○高速船料金の値上がり、市道(中央線等)、橋梁等の補修・整備、空き家対策について

**橋口 美幸 議員**  
◎古田保育園の問題について



**問** 公立保育園として唯一、存続している古田保育園の今後について、まず、へき地保育園の目的は何か。古田保育園が、これまで果たしてきた地域での役割を評価し、今後も保育園を存続し続けることを検討すべきではないか。また、閉園についての、地域との合意形成はどうか。昨年度実施した、子育てアンケートの結果は、今後にどう生かされるのか問う。

そして、長期振興計画には、「地域の再生、子育て支援、雇用の再生」とあるが、保育園の閉園は、その方針との整合性がないのでは

ないか。若者が住みやすい地域として、保育園を始めとする、子育て支援の充実が求められる。放課後児童クラブの実施など、アンケートを集約し、予算を効果的に運用できるようにしていただき、必要があれば、閉園でない方向で検討を進めるべきであると思うが如何。

**答** へき地保育所とは、児童福祉法39条に基づき、安城、中割、古田地域の保育に欠ける乳幼児を保育し、必要な保護を行い、児童福祉の増進をはかり、親の就労を支援することを目的としている。古田保育園は、現在4名の幼児を保育している。又、アンケートについては、まだ集約はしていないが放課後児童クラブの要綱はある。(福祉事務所長)

地域と語る会の中で、課題は出して来ている。これまで、職員も派遣しながらやって来たが、今後の見込みは厳しい状況になっており、閉園はやむを得

ないことに合意していると認識している。今後は長期振興計画に則り子育て支援、保育教育の充実を今後も進めていく。放課後児童クラブについては、すでに複数の校区と検討はしている。今後どう設置するか、地域の人を含め、成果につなげるように実施する。(市長)

※その他の質問  
○鴻之峯小学校の閉校問題、介護保険制度の見直し、消防の安全点検について

**木原 幸四 議員**  
◎公有林の管理について



**問** 公有林の利用間伐、主伐による再造林などによる健全な森林を維持するための継続的な管理がなされているか。

**答** 人工林については21年度～23年度にかけて国の基金事業を活用して一定整備されてきている。天然林については、再生、育林の面からも21年度～23年度において一部伐採を行って来た。

25年度より国土地地区の山林について調査に入り、本年度から公売による伐採に入る。年度毎に調査に入り、公有林の管理については引き続き努めていく。(財産監理課長)

※その他の質問  
○鳥獣捕獲後の処置、山村留学制度について



**濱上 幸十 議員**

- ◎生活保護の不正受給について
- ◎南海トラフ地震津波対策について
- ◎ふるさと納税のお礼について
- ◎馬毛島反対違法看板について



**問** 平成25年度の不正受給者の数と合計数、最高額はいくらか。

**答** 不正受給者43名、最高額96万9,000円である。(福祉事務所長)

**問** 不正受給が発覚した理由は何か。

**答** NNT、九電の敷地料調査により賃貸料を得ていることが判明したことである。(福祉事務所長)

**問** 当市は、南海トラフ巨大地震対策の「津波避難対策特別強

化地域」に指定されているが、志布志湾岸1市2町のように協働して対策をやつていく計画はあるか。

**答** 種子島1市2町の広域連携が重要な課題であり、今後是一体的に議論し、具体策を探りたい。(市長)

**問** ふるさと納税のお礼の特産品は何を考えているのか。

**答** 安納芋、お茶、焼酎、黒糖、ニガダケ、パッションフルーツ等である。(地域支援課長)

**問** 馬毛島に反対する看板が違法に立てられているが何違反にあたるか。

**答** 県屋外広告物条例の許可を得るための申請はなされていない。表現の自由を侵害しないよう取り扱う必要があるが、設置者に同条例の趣旨を理解していただき、適正な設置を求めたい。(建設課長)

**問** NTT西日本の許可はあるのか。

**答** NTT西日本は立て看板設置の許可は出していない。(建設課長)

**長野 広美 議員**  
◎防災対策の充実に向けて



**問** 国は今年3月末に南海トラフ地震と首都直下地震の基

本計画を含む大規模地震防災・減災対策対応を新たに定め、西之表市は「津波避難対策特別強化地域」に指定された。鹿児島県のホームページにある津波シミュレーションを紹介する等、迅速な情報発信に努めるべきである。また海岸に隣接した住宅密集地などでの防災組織の強化など迅速な対応が求められているため、担当職員

の強化が必要ではないか。万一の原発事故に

に対する離島避難の対応も検討されているか。

**答** 南海トラフ地震の場合発生後29分で津波到来の予測も出ており、避難道路ルート策定、救護体制など、迅速な避難計画づくりが急務であり、またホームページの改善など広報は重要だと認識している。川内原発から150kmの位置にあるため、離島での避難についても検証していく。(総務課長)

◎その他の質問  
○職員の勤務時間における喫煙、教育委員会改革、馬毛島へのFCLP誘致反対運動について

**田添 辰郎 議員**  
◎なぜ馬毛島に不似合なのか

**問** 市長が反対したとしても実効的



に止める手段はない。反対しても馬毛島に自衛隊施設ができた場合、国への協力を要件とする再編交付金は受け取るのか。また、過疎債よりも有利とされる防衛施設周辺対策事業は利用するのか。

**答** FCLPについては、国が進める恒久的な施設で、3市町、当市議会ともに反対である。FCLPはどこにも受け入れられない。この地を利用した産業振興を図りながら持続的運営を図っていく。交付金・周辺対策事業についてはFCLPと一体となつた話で、仮定のことをどうのこうのとは言えない。(市長)

**問** 年間10日間あるFCLP訓練の70デシベルの騒音等自衛隊施設の負の部分だけを市民は被り、自衛隊員の租税、家族用の300〜500人規模の宿舍等のメリットを手放すことになっていないのか。

**答** 基本的に誘致に反対ということ

で、その中で判断できると思う。(市長)

**問** 再度同趣旨の質問 (答弁なし)

◎その他の質問  
○市民生活の状況と子どもを取り巻く環境、市民の生活の基盤を守るために何をやるべきかについて。

～市防災行政無線で 議会の日程をお知らせします～  
○議会の日程と合わせて、一般質問の内容を質問者ごとに1つずつ放送しています。是非内容をご確認ください。



**議長会務報告**  
(平成26年6月〜7月)

- 6月  
○市消防操法大会  
○種子島地区さとうきび・でんぶん用かんしよ関係者と県議会振興議員連盟との意見交換会  
○市生涯学習推進会議代表者会議  
○長浜出世まつり
- 7月  
○熊毛地区消防組合議会第1回臨時会  
○種子島営農大学校入学式  
○小規模市の地域戦略を考える地方議会ネットワーク議長会  
○東西之表会第16回総会  
○県民体育大会熊毛地区大会市選手団結団式  
○東京都渋谷区議会総務区民委員会行政視察受け入れ  
○市商工会プレミアム付き種子島通貨「むじよか」発行セレモニー  
○県民体育大会熊毛地区大会

西之表市議会のホームページでは、次のような情報を掲載しています。一度覗いてみてください。

- 議会の仕組み
- 議員名簿
- 議会行事記録  
(どんな会議に出席したか?)
- 議会の日程  
(いつ議会があるのか、あったのか?)
- 一般質問通告書  
(誰がどんな質問をするのか、したのか?)
- 本会議議事録
- 議会だよりバックナンバー など

URLは・・・

<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/gikai/gikaitop.html>

または「西之表市議会」で検索してください。

## 次回 平成26年第3回定例会 会期日程予定

9月1日	請願・陳情受理期限
2日	議会運営委員会
5日	開会、本会議
8日	本会議(一般質問)
9日	本会議(一般質問)
10日	本会議(一般質問)
11日	総務文教委員会(付託案件審)
12日	総務文教委員会(付託案件審)
16日	産業厚生委員会(付託案件審査)
17日	産業厚生委員会(付託案件審査)
18日	各常任委員会(付託案件審査)
19日	各特別委員会、議会運営委員会
24日	本会議(議案等審議、表決、所管事務調査報告、閉会)

※都合により変更になる場合があります。

## 議会を傍聴してみませんか？

市議会の定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催されます

(次回は9月5日開会の予定です)。

傍聴者受付簿に住所、氏名、年齢を記入するだけで傍聴できますので、どうぞお越しください。



## ～今号の表紙について～

平成26年6月24日(火)に総務文教委員会委員8名が所管事務調査を行い、市内の小・中学校を訪問しました。上西小学校では、子どもたちや先生方と一緒に給食をいただき、はじめは戸惑った様子だった子どもたちでしたが、机を並べて美味しい給食を食べているうちに、打ち解けてもらえたようで、楽しいおしゃべりの中、童心に戻る気持ちでした。今後も美味しい給食・安心、安全な給食をいっぱい食べて健やかに成長してくれることを願っております。

## 編集後記

7月4日発生した台風8号。最大級の台風で成長しながら北上、気象庁は初めての特別警報を発令した。テレビでは「注意」「警戒」の連呼、モンスター台風完全にビビってしまった。

翌日の接近に備え、半分投げやり自宅の台風養生をすませ、母が住む実家へ向かった。横山付近を北へ向かう途中、雨模様を雨衣を着、黄色い旗を握り小走りにこちらへ向かってくる女性がいる。「校長先生どうかしましたか」「まだ一人登校しない子がいるのですから」短い会話で私は車を走らせた。

あの場所は学校から1kmはある、しかも急な長い坂道だ。ひとり立ち教育を目指す本市、台風の荒れ模様の景色の中に教育者の熱き魂を見た。

昨年の種子島中野球部の全国制覇、そして今年種子島中1期生3名が甲子園に立つ。結果は基礎教育の基盤あって成せるものだと思う。果たして私たちは現場の思いに沿えているのか。  
(丸田健次)

